

会 議 録

会議の名称	第5回 本庄市公共施設等マネジメント推進審議会部会
開催日時	令和5年1月16日(月) 午前・午後10時00分から 午前・午後11時40分まで
開催場所	本庄市役所 6階 大会議室
出席者	審議会部会：松本部会長、田島副部長、山田部会員、 逸見部会員、飯野部会員、高橋部会員、林部会員、 田中部会員、工藤部会員、川田部会員 事務局：【教育委員会事務局】高橋事務局長 【教育総務課】笠原参事兼課長、新井副参事、 関根課長補佐、松島主任 【学校教育課】岡芹課長、瀧澤課長補佐、 大澤課長補佐、高柳主査 【企画課】荒井主任 コンサル：東日本総合計画株式会社 喜渡、大山
欠席者	山崎部会員、早野部会員
議題 (次第)	1 開会 2 あいさつ 3 議題 本庄市立小・中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方(案)について 4 その他 5 閉会
配付資料	・第5回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会部会次第 ・本庄市公共施設等マネジメント推進審議会部会 部会員名簿 ・【資料1】本庄市立小・中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方(案)について ・【資料2】小中一貫教育について ・【資料3】本庄市立小・中学校児童生徒数・学級数一覧 ・【資料4】学校施設の改修等の時期と費用について
主管課	教育委員会事務局教育総務課

会 議 の 経 過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局 (教育総務課副参事)	本日はお忙しい中、「第5回 本庄市公共施設等マネジメント推進審議会部会」にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます

	<p>います。私は進行を務めさせていただきます、教育総務課の新井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関する対策として、入室時の検温等にご協力いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、報告と配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本庄市公共施設等マネジメント推進審議会規則第2条に基づき、本会議は公開といたします。同規則第3条の規定により、本会議の開催について市ホームページで公表し、傍聴人については定員数10名としてご案内したところ、3名の申し込みがございました。本日につきましては、非公開事項を有する議題はありませんので、傍聴者につきましては手続を行い、入室していただいております。</p> <p>なお、会議録作成のため、事務局にて本会議を録音させていただきます。あらかじめご了承ください。</p> <p>次に、配布資料の確認をさせていただきます。本日、机の上に配布させていただいた資料として、「本日の次第」「本庄市公共施設等マネジメント推進審議会部会 部会員名簿」、「【資料1】本庄市立小・中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方（案）について」、「【資料2】小中一貫教育について」、「【資料3】本庄市立小・中学校児童生徒数・学級数一覧」、「【資料4】学校施設の改修等の時期と費用」、以上6点となります。資料等の不足はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（なし）</p> <p>ご確認ありがとうございます。</p> <p>報告や配布資料の確認につきましては、以上でございます。</p> <p>それでは、これより会議を開催させていただきます。</p> <p>進めさせていただく前に、本審議会部会の部会長である松本部会長より、ご挨拶を頂戴したいと思います。松本部会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>松本部会長</p>	<p>皆さん、おはようございます。久しぶりに雨が降り、湿度も少し高まって風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が少し和らいでくれればいいなという状況です。土曜日、日曜日に、私どもの大学は大学入学共通テストの会場で、受験生がたくさん来ましたが、毎年受験生が少なくなっており、子供の数が少なくなっている感じがします。本庄市の児</p>

	<p>童生徒数の状況を見ても減少傾向がずっと続いており、今後対応していかななくてはいけないのだろうと心の中で思った次第でございます。</p> <p>今日は第5回目の会議ということで、しっかりと詰めまして、最終回、第6回の会議に持っていければと思っているところでございます。ぜひ部会の皆様のご協力をいただきまして、スムーズに会議が進行して、最終回にまとめができるようにしていただければとお願いを申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
事務局 (教育総務課副参事)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第3「議題」に移らせていただきます。</p> <p>議題の進行につきましては、「本庄市公共施設等マネジメント推進審議会規則第8条第1項」の規定により、部会長が議長となつて行うこととなっております。これからの議題の進行につきましては、松本部会長をお願いしたいと思います。</p> <p>松本部会長、よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>会長が会議の議長を行うということでございますので、この後の議題につきまして、進行を務めさせていただきます。会議のスムーズな運営に、どうぞご協力をお願い申し上げます。</p> <p>それでは、早速、議題に入らせていただきます。</p> <p>「本庄市立小・中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方」について、事務局から説明をお願いいたします。また、第4回部会において資料提出を求めた「学校施設の改修等の時期と費用」について、併せて説明をお願いします。</p>
事務局 (高柳主査) (瀧澤課長補佐) (松島主任)	(資料に基づき説明)
議長	<p>丁寧な説明ありがとうございました。非常に内容が多いので、少しずつ区切って再確認をしながら、皆さんから質問やご意見を頂戴したいと思います。前回第4回の会議で触れたところは、できるだけ省略しながら進めていきたいと思っております。まず資料1、基本的な考え方(案)をご覧いただきたいと思っております。</p> <p>9ページまでは現状を反映させたもので、これはもう変えようがない事実であるため、このまま進めていきたいと思っております。10ページから12ページまではアンケートのまとめで、これについても皆さんで分析をして、ご意見を頂戴しましたので、先に進めたいと思っております。</p> <p>そして、13ページから17ページまで、第4回で大きな方向性</p>

について皆さんにお考えを頂戴しました。現在の状況、アンケート結果、国の標準的な考え方を踏まえて、本庄市の基本的な考え方を決めていくということで、15ページと16ページを確認します。まず適正規模の基本的な考え方では、小学校は各学年2から3学級、全体としては12から18学級、中学校は各学年3から6学級、全体としては9から18学級で、国の考え方と同じような形で基本的な考え方とすることについて、皆さんから良いというご意見を頂戴したところです。そして、適正配置の部分についても、国の考え方と同様に、小学校は通学距離がおおむね4km以内であること、中学校も通学距離はおおむね6km以内であること、通学時間としては、おおむね1時間以内、場合によってはスクールバスの利用もあり得るということで、ここもご了承をいただいたところです。標準内にある場合は問題ないですが、標準外の場合どうするのかということで、皆さんからご意見を頂戴しました。基本的には標準外の場合は標準に近づけるために検討が必要であるということが、17ページに書かれています。複式学級あるいは単学級で標準外が想定される場合は、直ちにとか将来の児童数を考慮した上で検討を進めていくという形で、皆さんからご了解を得ました。どのように検討を進めていくかについて、②適正規模の方策で、⑦の通学区域の見直しを行い、現状を解消できるかということについてご意見を頂戴しました。通学区域の見直しだけでは改善が図れない、また、地域のコミュニティの繋がりを崩す結果にもなってしまうと思われるので、これはかなり難しいというご意見が出されたところです。それでは、次の方法として、④学校統合ということですが、こちらの方が現実的には合うのではないかとご意見で、次のパターンに入った次第です。

事務局から提案されたのは、時期は別として、基本的には中学校区ごとに集約・統合が図れないか、ゆくゆくは同じ中学校で学ぶことを想定すると、中学校区ごとのまとまりで考えていった方がいいという案です。例えば本庄東中学校区では本庄東小学校と藤田小学校と仁手小学校、本庄西中学校区では本庄西小学校と旭小学校、児玉中学校区では児玉小学校と秋平小学校と金屋小学校と共和小学校をまとめていくという方向性です。ただ、これを実際に実現することはかなり難しく、課題が生じるだろうということで、集約・統合することによって、将来的にどのような学校を作っていくのか、やはり夢や明るい希望があった方がいいのではないかとご意見をいただきました。また、校舎の改修費用をできるだけ無駄にしないように進めていく必要があるため、時期も想定しなけ

	<p>れないということで、本日は、義務教育学校や小中一貫教育、それから、大規模改修などにかかる費用について、事務局から提案してもらいました。次回が最終回なので、今日は特にこの資料編18ページ以降と改修予定から、統合等の検討時期をどうするのかについて、皆さんから意見をいただいて、最終まとめとして文言に出すかどうか、出す場合どのようにまとめるのか、議論できればと思っております。</p> <p>それと、前回山田部会員から出された文言の修正等について、16ページから削除したということでよろしいでしょうか。</p>
事務局 (松島主任)	<p>教育委員会の考え方として、16ページから15ページに移し、⑤に表現を修正してまとめております。</p>
議長	<p>法律以外の基準で学級編制をする場合は、市で教員を独自採用するので新たな財源が必要となる、また、人事面でも教員の質の確保が課題となることから、国の基準に沿った方がいいとまとめたということになります。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>引き続き中学校区で集約・統合を図ってどのような学校を作るのか、また、時期はどうするのかについて、皆さんからご意見を頂戴したいと思います。まず、集約してどんな学校を作っていったら良いかということで、今回、事務局から9年間を見据えた義務教育学校、小中一貫校を今後検討していきますという話がありました。まず保護者代表で工藤部会員から意見を頂戴したいと思います。</p>
工藤部会員	<p>義務教育学校や小中一貫型小中学校という案を出していただきましたが、今後検討して欲しいと私は思っております。</p>
議長	<p>田中部会員はいかがでしょう。</p>
田中部会員	<p>現状、英語が小学校でも義務化になっていますが、小学校と中学校で英語の関連性が薄いと思っています。体育も途切れるところがありますが、小中一貫となると一つの義務教育になります。現状で一貫に近いことはやっていますが、課題がなかなか解消できないとなると、義務教育学校で9年間の目線で見ることによって改善できる場所があります。この点を考えると、規模が小さくなる学校を一枚ずつ統合するより、義務教育学校もやりますという形を出した方が、いろいろ進むような気がします。ただ第3回の会議で申し上げましたが、現状であれば今の学校を残してもらうことも当然考えていることですが、やむを得ず進めるのであれば、義務教育学校という考え方は、現状が一番合っていると私は考えます。</p>

議長	林部会員はいかがでしょうか。
林部会員	義務教育学校もいいと思うところがありますが、経験したことがないので、どう考えていくのか分からない点があります。
議長	おっしゃるとおりで、埼玉県には840校ほど小学校がありますが、まだ義務教育学校は1校なので、簡単に理解して答えてほしいという私の方が申し訳なかったと反省する次第です。 高橋部会員はいかがでしょうか。
高橋部会員	子供の未来を作っていくことがすごく見えづらく、あまりにも早く時代が動いたり、あるいはいろいろな技術が新たに加わったりする中で、今の小学校、中学校の子供たちをどうサポートしたらいいのか、勉強だけというのはとても重いので、教育について私たちがどういう目線で見ていけばいいか、考えていく必要があると思います。
議長	いろいろな児童生徒がいるので、いかにうまく伸ばしてあげるかというのは、今まで以上に難しくなっていくと思います。 飯野部会員はいかがでしょうか。
飯野部会員	義務教育学校ですが、小学校1年生が6歳、最高学年が15歳なので、これだけの年齢差がある子供たちが、一つの学校でどういうふうにしていくのか、実際のところよくわからないというのが現状だと思います。これから教育委員会等で考えていくと思いますが、難しい面もあると思います。
議長	おっしゃるとおり、6歳の小学1年生から体の大きな中学3年生までが一つの学校に通うことを想定すると、校長先生の話一つでも、どこを中心に話をしたらいいのか迷うかもしれません。同じ話を小学1年生がどこまで理解できるのか、ということが頭に浮かびました。 逸見部会員はいかがでしょうか。
逸見部会員	児玉の小学校について前回述べましたが、児玉高校跡地が使えると思います。児玉高校と児玉中学校は近いですが、隣接しているのですか。
事務局 (関根課長補佐)	土地の形から言いますと、児玉中学校が城山に近いので、若干高くなっており、グラウンドは水路を挟んで接しています。
逸見部会員	児玉高校を改築または解体してそこに小学校を作り、通学は本泉地区、秋平小学校の一部、共和小学校の一部をスクールバスにすれば、比較的スムーズだと思います。グラウンドも有効活用して使い勝手を良くし、400メートルトラックなどもできると思うので、それが良いと思います。
議長	児玉中学校区の小学校を児玉高校の敷地等をうまく使ってでき

	<p>ないか、というご意見でした。</p> <p>山田部会員はいかがでしょう。</p>
山田部会員	<p>今回のこの統廃合、適正配置をやるのは、まず少子化で子供の数が少なくなっているから、もう一つは、改修更新費用が割に合わない形になっているからだと思います。すべて改修すると245.5億円かかり、残る学校だけ改修すればおよそ150億円なので、予算が圧縮された分を子供たちや教育に回すことができないのかと思いました。</p> <p>また、小規模校のメリット・デメリットで、教育内容も大事ですが、やはり人間関係が大きなキーワードだと思います。先日の会議で校長先生方がおっしゃっていましたが、小規模校からいきなり大きな学校の中学生になったとき不登校の生徒たちが増えることは問題ということだったので、コミュニケーションとかをもっといろいろ考え、学校全体で子供たちにしっかりした人間関係を育めるという内容を打ち出して、統廃合のメリットをしっかりと基本的な考え方にまとめた方がいいと思います。学校の統廃合ですから予算とかもちろんあると思いますが、全体的に機械的な感じの記載なので、先ほど松本部会長がおっしゃったとおり、人間関係をどれだけ作れるかが必要になることを書いた方がいいと思います。</p>
議長	<p>いくつかの小学校に集約すれば、改修しない学校の費用が浮くので、浮いた費用を統合した学校に充当できるだろうかという意見が一つ、それからまとめる方向として、人間関係をしっかりと構築するという点をもっと打ち出した方がいいという意見でした。この2点について、事務局からお願いします。</p>
事務局 (参事兼教育総務課長)	<p>適正配置を進める中での教育環境改善への財源措置についてですが、資料4は、現在の公共施設維持保全計画に基づき、今後改修等を進めていくと、このくらいの経費がかかるという試算になっています。この財源が全て確保できていれば、浮いた改修費用についてどういうことができるかお話ができますが、財源が確定しているものではないということでご理解いただきたいと思います。ただ、資料編1のそれぞれのパターンのメリットのところ、適正配置を進めることにより、集中投資による教育環境の機能向上が図れると記載しており、具体的な金額の試算はできませんが、集中投資を進めていくことによって、教育環境の向上には繋がっていくと考えております。</p>
議長	<p>人間関係の醸成の部分をもっと強調してはどうか、というご意見についてはどうでしょうか</p>

事務局 (学校教育課長)	資料1の14ページ(2)②多様な人間関係を育むための学習集団を構成できる規模であること、という部分が当てはまると考えております。小規模校の良さもありますが、少人数ですとどうしても人間関係が固定化される部分が課題としてあるため、複数の学級があることにより人間関係が育まれるということで、こちらに記載をさせていただいております。
山田部会員	<p>統廃合をした場合、教育に対して集中投資を行っていくということがしっかり書いてあれば、統廃合をするとなった場合に伝わりやすいと思うので、この部分は記載した方がいいという個人的な意見です。あと、コミュニケーションの部分の記載は一応してありますが、今回の統廃合のポイントだと思うので、強調した方が伝わりやすいと思いました。</p> <p>子供の数が減少するので今回全体的に統廃合をやっていくわけですが、国の異次元の少子化対策のようなもので、かなり子供の数が増えていったら、今回のこの統廃合でも対応できるような形をしっかりと考える必要があることも意見としてお伝えします。</p>
議長	<p>国、都道府県、市町村の少子化対策が今後進むと、それに合わせて変わってくる局面も出てくるのではないかとということで、事務局に考えは特に求めませんが、頭に入れておく必要があるのではないかと意見でした。</p> <p>義務教育学校や小中一貫校ということで、小中連携をもっと充実した方がいいのではないかと声もある中、学校現場として小学校も中学校も経験した川田部会員、いかがでしょうか。</p>
川田部会員	<p>二つの視点からお話させていただきます。現在、金屋小学校に勤めておりますので、児玉地区のことについて皆さんのお話があったこと、私はとてもいい取組で、踏み切ってもいい時だと思っています。この地区には元々児玉という文化があり、とても良い文化だと思っています。小学校から中学校まで9年間かけて児玉を好きになるような子供を育て、将来は児玉のために何かできる、これはイコール本庄市のためということになることだと思います。若年層が地域に帰って来ることが懸念されることもあるので、将来、児玉に住んでいなくても、児玉のために何か考えられる大人になりたいと思えるような義務教育をして、子供たちを送り出してあげたいというのが個人的な考えです。塙保己一先生の話もありますが、9年を通して児玉のことについて勉強し、そして将来児玉のために活躍できる思いを抱かせる9年間の学びができるのではないかと思います。施設的に児玉高校が活用できれば、本庄市の一つの取組としてチャレンジすることとしては面白いと思いますし、個</p>

	<p>人的に興味があります。</p> <p>また人間関係について、前回の会議でもお話させていただきましたが、小さい学校から大きな学校への対応で不登校になるということもありますが、実はその逆もあり、大きな規模の中での人間関係作りに困っている子供たちもいます。ですから人間関係作りについては、統廃合に関係なく、新たな取組をしていかなければと思います。確かに小さい学校から大きな学校に行くと戸惑うということもありますし、子供たちの環境の変化については、どの場合でも対策を練っていかなければならないと思います。</p> <p>もう一つ、教員数のお話があったかと思います。先ほどの国の基準がありますので、規模によって教員の数は変わります。金屋小学校は、まもなく1年生から6年生まで単学級になることが見込まれており、かなりの教員数が減ることになります。学校の中での話ですが、担任外の先生の数がとても必要で、担任1人では対応できないときに、どれだけ担任外の先生がいるかがとても大事です。学級数に対して担任以外の先生たちがどれくらい確保できるかということも非常に大きな問題なので、今回出していただいた12学級という基準数を確保できると、教員数のバランスが保てると思います。教育の質の確保ということが言われており、今働き方改革の話がありますが、その一番の目的は、教員がどれだけ子供と向き合う時間が取れるかということになります。他の事務的な仕事などを担任外の先生が行うことで、担任は子供たちとの時間を確保できます。教員数、担任外の先生たちが確保できなくなると、子供と向き合う時間を作るために、担任の負担が多くなることもあるので、その辺も考え、学級数が確保できることを考慮して、統廃合を考える時期に来ていることを強く感じています。もちろん小規模校の良さもありますが、やはり教員の確保というところも非常に重要で、国の方針が変わらなければ、実態として今後も多く出てくる問題だと思います。</p>
議長	<p>川田部会員から、9年間の一貫教育あるいは義務教育学校で、その地域の良さを子供たちに身に着けさせて育て上げたい、そしてゆくゆくは自分の学区に戻ってきてもらうという願いを持って指導できるのではないかという意見、それともう一つ、小さな学校から大きな学校になると人間関係が難しいけれど、逆に大きな学校の中でも難しい部分はあるということで、学校長ならではのご指摘をしていただきました。今は、中学校の不登校の数だけではなく、小学校でも少しずつ不登校の数が増えてきていますので、人間関係作りが難しいという現状でございます。また、一番の課題は教</p>

	<p>員の確保で、単学級ですと、校長、教頭、養護教諭を除くと、担任をしていない先生は1人しかいないので、担任が病気で休んだりすると、教頭先生や校長先生が授業に出ることがあり、その場合は、職員室が手薄になったりします。小さい学校は非常にきめの細やかな授業ができる反面、先生たちは四苦八苦というのが正直なところですよ。</p> <p>義務教育学校あるいは小中一貫校についてはご意見をいただいたということで、次に行きたいと思います。今度は改修費用と統廃合の時期の関係ということで、皆さんからご意見をいただきたいのですが、なかなか言い出しづらいと思うので、まず私から申し上げます。子供の数が減って複式学級になってしまう状況で、なおかつ、改修も間近に迫っているならば、改修前に統廃合をすれば無駄が省けると考えるのが一般的かと思いますが、この考え方は違うという意見もあると思うので、子供の数の減少というのが前提にはあるとして、この考えに対してご意見をいただければと思います。山田部会員いかがでしょうか。</p>
山田部会員	<p>時期は早い方がいいと考えております。いつになったらやるかという話になるので、早く動いた方がいいという考えです。</p>
議長	<p>逸見部会員はいかがでしょう。</p>
逸見部会員	<p>統合時期の検討で、全部、「検討・準備期間が5年、6年目に統合」とありますが、教員の人事などいろいろあるとしても、長すぎる気がします。3年ぐらいでできると思いますが、できないのでしょうか。</p>
事務局 (参事兼教育総務課長)	<p>準備期間につきましては、松本部会長から以前いただいたご意見、また、全国の他の自治体で統合検討を進めた場合、大体5年かかる事例があるため、5年の準備期間としました。松本部会長から、教員人事の関係で3年ほどかかるというお話があったと思うので、部会長から情報提供いただければと思います。</p>
議長	<p>円満になおかつスムーズに進めるには、5年くらいかけた方がいいということで、ご提案をさせていただきました。統廃合の話地域の方々に説明をして理解を得るには、時間がかかります。そして、話が決まって進めていくとなったときに、今度は施設や先生の問題などが出てきます。特に先ほどの義務教育学校を進めるとなると、小学校と中学校の免許を両方持っている先生、それから教科担任制を進めるには、数学や理科や英語の免許を持っている先生たちを集めることになり、教育委員会では人事配置上の問題が出てきます。市内だけでは賄いきれないので、北部管内全体から数学や理科や英語の先生を集めることになりますので、多少の時間がかかります。円満にスムーズに行くには、これぐらいの時間をとっ</p>

	<p>ておくと良いと思いますが、もちろん、話し合いがスムーズにいつて進めていければ、2年とか3年でできるかもしれませんが、統廃合を進めていく上では反対意見の方もおられると思います。でも、そういう方たちにもしっかりと理解をして賛成していただき、みんなで気持ちよく進めていくということを考えると、これくらいの期間をとっておいた方がより良いということでご提案をさせていただきました。子供たちの人間関係や教育環境を考えると、早くできるのであれば、早い方が良いとは思いますが。</p> <p>飯野部会員はいかがでしょう。</p>
飯野部会員	<p>前回の会議でも言いましたが、この適正配置の考え方の中で、中学校区ごとに検討し、時期については、複式学級や単学級の編制が見込まれる場合、と書いてあるような形で実施していくのが良いと思います。</p>
議長	<p>明確に令和何年と示さなくても、複式学級が見込まれる、単学級になっている、大規模改修があるというように、出ている数字を目安に考えていくのが良いという意見でした。</p> <p>高橋部会員はいかがでしょう。</p>
高橋部会員	<p>今出ている数字は積み重なってきたものであり、現実的にも重要なことだと思います。これをもとに進めていくという考え方が現在ではよろしいのではないかと思います。</p>
議長	<p>林部会員はいかがでしょう。</p>
林部会員	<p>改修費用を考えると、早くした方がいいという考えがあります。なくなる学校を改修しても無駄になるので、改修する前に統廃合などを考えた方がいいと思います。</p>
議長	<p>田中部会員はいかがでしょう。</p>
田中部会員	<p>数字は重要なファクターですが、小学校を数字だけで見ると損得の話になってしまいます。教育はそこだけではないと思うので、それ以外のところをどう捉えるかが重要になってくると思います。例えば児玉では、小学生500人の流れが変わり、インフラを含めて見直さないといけない部分が出てくると思います。前も申し上げましたが、学校教育とまちづくりはイコールでなければいけないので、まちづくり自体をどう考えていくのかという議論になっていくと思います。数字だけを見るとこの時期となってしまうがちですが、そうではなくてどういうまちにしたいのかというところがまずあって、そうであるならばここに学校を移すのがいいという議論の段階を踏んでいった方が、長期的に安定していると思います。数字は数字で重要で、やはり財政的にも重要ですが、こういう点も見えていくべきだと思っています。</p>

議長	まちづくりの長期ビジョンと合わせていくことも重要だというご意見を頂戴いたしました。工藤部会員はいかがでしょう。
工藤部会員	児玉地区で、児玉小学校の大規模改修予定が令和5年から9年、今年から4年後なので、費用を考えると早く進めた方がいいのかなとも思いますが、小学校は地域とも結びついているので、やはりどのような形に変化していくのかは話し合う必要があると思います。先ほどの人間関係の構築のことに関しても、学校の中の同じ世代だけの人間関係が必要というわけではなく、地域の方々との交流とかも含めて必要になってくるので、児玉地区が小学校1校になったときに、幅広いそれぞれの地区の文化やいろいろなことについて、地域の人たちと学校がどのように繋がっていくのかなという疑問が出てきます。中学校になると1校になるので、地域との繋がりをあまり感じなくなりますが、小学校が各地区にあると、地域の方との交流が盛んになると思うので、その辺を踏まえて地域の方々を含めて話をしていく必要があると思います。
議長	田中部会員の意見に加えて工藤部会員からは、小学校と地域の関係は非常に濃いものがあるけれども、薄れてしまうのではないかとこの心配があるので、もし統廃合するのであれば、十分留意する必要があるというご意見でした。
田島副部長	適正時期ですが、現に仁手小学校には複式学級が存在しており、5年後に統合となると、複式学級がどんどん増えていくような気もします。未就学児の人口を見れば、いつぐらいから単学級あるいは複式学級というのがデータの的にわかれると思うので、わかった時点で検討を始めていけば、もっと短い間に統廃合ができると思います。
議長	最後に川田部会員いかがでしょう。
川田部会員	先ほど個人的に申し上げた意見も田中部会員から出たまちづくりの観点も、本庄市として子供をどのように育てていきたいかということにつながってくると思います。いろいろな方のご意見を伺いながら、計画的に準備をしていかななくてはならないと思います。小学校の統合が簡単にはいかないというのもそのとおりだと思うので、地域の方にも十分な説明をし、ご理解をいただく機会も必要になります。令和5年から9年の間に改修があるので、その間に検討が進められれば、予算的には良いと感じますが、PTAの関係など、学校の中の現場として考えていく問題が多々あると思うので、十分な時間が必要だと思います。
議長	集約して統廃合した後の学校の姿、また改修等を見たときの統廃合の時期ということで、皆様方からご意見を頂戴しました。基本的には事務局案でいいと思いますが、他にご意見はございますか。

逸見部会員	資料4の大規模改修の時期が令和5年からずらっと出ていますが、市はこの全部の改修計画を立てているのでしょうか。
事務局 (関根課長補佐)	これは、平成29年3月策定の公共施設維持保全計画に基づく実施の予定時期で、現在、新型コロナウイルス感染症の関係等で事業の着手が遅れています。現在は、本庄西中学校の改修について設計等を行っているところです。
逸見部会員	遅れているにしても、結局進めてしまうと、統合との兼ね合いでお金が無駄になることもあるので、改修にかかるお金を新しい方へ回せばいいと思います。先ほども意見が出ましたが、大規模改修との兼ね合いで、早めに進めた方がいいと思います。
議長	<p>お金には限りがあるから、統廃合の対象と思われる学校ならば、改修を待って早めに検討をして、その分を浮かせた方がいいというご意見です。複式学級、あるいは単学級の状況は標準外なので、中学校区ごとに集約を図っていく、そして、その時期については、児童数の減少をしっかりと見極め、そして改修等を見極めて無駄が出ないように進めていく。しかしながら、そこで対応する事項として、山田部会員の「人間関係をしっかりと醸成していくのが大事」という意見、あるいは、田中部会員の「全体のまちづくりも視野に入れてやっていく必要がある」という意見、そして工藤部会員の「統合した小学校と地域との関係もこれまでと同じような形で結びつきがないといけない」という意見がありました。</p> <p>統廃合した後の残された学校、これまで学校が担ってきた地域の文化の核としての役割、子供たちが集う場所、保護者が集って情報交換をする場所、あるいは避難場所としての機能など、いろいろな機能が学校にあり、これらをどう維持していくかというのも、統廃合においては出てくる内容です。公民館機能に移していく等いろいろあると思いますが、今後の在り方として非常に難しい問題だと思います。こういった部分も今後のことということで、考え方の中に柱立てを入れておいた方がいい感じがします。また、教育委員会が市長部局に報告をするときは、出された意見を受けて今後の在り方について考える必要があることをお伝えいただければと思います。</p> <p>全体を通して、皆さんからこれだけは言っておきたいということがなければ、これでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それではいろいろなご意見が出されましたが、教育委員会でも</p>

	とめていただいて、最終案を作成するようお願いいたします。私の務めはここで終わりにさせていただいて、進行を事務局にお返しいたします。ご協力ありがとうございました。
事務局 (教育総務課副参事)	<p>皆様には、貴重なご意見、慎重なご審議、大変ありがとうございました。また、議長を務めていただきました松本部会長にお礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第4「その他」でございますが、今後のスケジュールについて事務局からご連絡がございます。</p> <p>1点目といたしまして、本日の会議の会議録の案につきまして、部会員の皆様にご確認いただきたいと思います。お手数ですが、お手元に届きましたら内容をご確認いただき、記載内容に修正等がございましたら、事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>2点目といたしまして、次回の部会につきましては、2月8日、水曜日、10時からの開催を予定しております。議題内容ですが、本日ご審議いただきました適正規模・適正配置の考え方について、最終案としてご審議いただく予定でありますので、よろしく願いいたします。事務局からの連絡は以上です。</p> <p>続きまして、次第5「閉会」にあたりまして、田島副部会長より、ご挨拶を頂戴したいと思います。田島副部会長、よろしく願いいたします。</p>
田島副部会長	本日はお寒い中、お集まりいただきありがとうございます。本日の議題について、無事審議が終了しましたことにお礼を申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。
事務局 (教育総務課副参事)	以上をもちまして、第5回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会部会を閉会いたします。本日は、誠にありがとうございました。